

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公開番号】特開2011-125977(P2011-125977A)

【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2009-288267(P2009-288267)

【国際特許分類】

B 26 D 5/00 (2006.01)

B 26 D 7/18 (2006.01)

【F I】

B 26 D 5/00 F

B 26 D 7/18 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

裁断テーブルとピックアップテーブルと、裁断テーブルからピックアップテーブルへシート材を搬送するコンベヤと、裁断テーブル上を移動してシート材を裁断する裁断ヘッドと、ピックアップテーブル上のシート材にパーツ情報を投影する投影装置、とを備えた裁断装置において、

シート材の裁断テーブルからピックアップテーブルへの移動と同期しつつ同じ速度で、前記投影装置からシート材へ投影するパーツ情報を移動させるための同期手段を設けたことを特徴とする、裁断装置。

【請求項2】

前記同期手段は、シート材の移動と同期してかつ同じ速度で、投影装置を移動させることを特徴とする、請求項1の裁断装置。

【請求項3】

前記同期手段は、投影装置からシート材上に投影する画像内で、パーツ情報をシート材の移動と同期して、かつシート材と同じ速度で移動させることを特徴とする、請求項1の裁断装置。

【請求項4】

シート材を裁断テーブルからピックアップテーブルへ移動させながら、シート材を裁断するように、前記裁断ヘッドを駆動するための手段を備えていることを特徴とする、請求項1～3のいずれかの裁断装置。

【請求項5】

裁断テーブル上のシート材へ投影する裁断情報を示す裁断画像の発生手段を設けると共に、前記投影装置は裁断テーブル上へ裁断画像を投影自在で、かつ裁断画像の位置を作業者が変更することにより、裁断情報をシート材に対して位置合わせするための位置合わせ手段、を設けたことを特徴とする、請求項2または3の裁断装置。

【請求項6】

裁断テーブル上のシート材へ投影する裁断情報を示す裁断画像の発生手段を設けると共に、前記投影装置は裁断テーブル上へ裁断画像を投影自在で、かつ裁断画像の位置を作業

者が変更することにより、裁断情報をシート材に対して位置合わせするための位置合わせ手段、を設けたことを特徴とする、請求項4の裁断装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

あるいは同期手段は、投影装置からシート材上に投影する画像内で、 パツ情報をシート材の移動と同期して、かつシート材と同じ速度で移動させる。このようにすると投影装置の移動機構を設けずに、画像処理等でパツ情報を移動させることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

好ましくは、裁断装置はシート材を裁断テーブルからピックアップテーブルへ移動させながら、シート材を裁断するように、裁断ヘッドを駆動するための手段を備えている。このようにすると、裁断と並行してピックアップできるので、作業時間をさらに短縮できる。